

会議名	平成30年度第4回愛荘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議結果（概要）
開催日時	平成31年2月21日（木） 午後7時30分～午後8時40分
開催場所	愛知川庁舎 3階 第2委員会室
出席者	被保険者代表 石沼林三郎委員、國領靖浩委員 保険医・薬剤師代表 森野尚子委員、上林俊明委員 公益代表 平林光枝委員、宇野久七郎委員、北川義寛委員
欠席者	被保険者代表 中野芙奈美委員 保険医・薬剤師代表 武久典子委員
事務局	住民福祉部長 岡部得晴 住民課課長 廣瀬 猛、係長 小泉周子、係長 高田哲也 税務課課長 北村章夫、主査 伊藤圭佑 健康推進課課長 木村美紀
傍聴者	0人
議 題	・平成31年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算（案）について ・愛荘町の医療費の傾向と保健事業について
審議内容	別紙のとおり
問い合わせ先	住民課 担当 小泉 連絡先 0749-42-7692

(開会)

1) 会長あいさつ

2) 町長あいさつ

3) 議事録署名人の選出

議長（会長）の指名により、國領靖浩委員、北川義寛委員に決定。

4) 平成31年度 愛荘町国民健康保険事業特別会計予算（案）について
事務局説明の後、質疑・応答

(委員)： 国民健康保険税が減っているのは、被保険者数の減少か。

(事務局)： そうである。平成31年4月1日の見込みで、一般が3,955人、退職が5名の合計3,960人で予算計上している。

(委員)： 一般会計からの繰り入れはしないということではなかったか。

(事務局)： 一般会計からの繰り入れは、国保財政の安定を図るための基盤安定、福祉医療の波及の繰り入れのみで、保険税の赤字補填は計上していない。

(委員)： 赤字補填をしない分、財政調整基金からの繰り入れになるのか。

(事務局)： そうである。

(委員)： 平成31年度国民健康保険事業特別会計予算（案）について認める。

5) 愛荘町の医療費の傾向と保健事業について

(委 員)： 透析の人は何人か。

(事務局)： 国民健康保険加入者で 13 人である。

(委 員)： 体操を行っているが、何か意見は出ているか。

(事務局)： びん手まり体操を作成し、集落に P R しているところである。高齢者の健康増進と介護予防が軸となっており、ストレッチと筋力アップ、リズム体操の 3 つ構成されている。

(委 員)： 透析には高額な医療費がかかる。糖尿病の重症化により、腎症を発症する可能性がある。県の糖尿病重症化予防プログラムは始まっているのか。

(事務局)： 中身を詰めているところである。

(委 員)： 重症化さえしなければ、医療費は抑えられる。生活習慣病、高血圧等は太っているがためのことかと思うが、具体的な運動はすすめているのか。

(事務局)： 生活のどこに重点を置くかであり、やはり、食べすぎの方が多いので食べる量と間食を指導していきたいと考えている。

(委 員)： スーパーなどでも近くに車を止めず、歩く習慣をつけることである。間食を余計なものであるなので、根気よく指導することである。

(委 員)： 糖尿病の方には、資料の滝の絵のようなものを示して指導するのか。

(事務局)： その方の健診結果から、高血圧の方には高血圧の、高血糖の方は糖尿病の見開き程度の比較的大きくないパンフレットを渡している。

(委員)： インシュリンを打っている人にこれ以上ひどくならないように指導しなければならない。

(事務局)： 運動療法、食事療法が駄目で次は経口薬、経口薬だけで駄目な場合はインシュリン、それでも駄目な場合は透析となっていくので、早い段階で気づいていただき、自分の体を自覚しつつ生活できるように保健指導をしている。

(委員)： いろんな方法で指導できる。町内医師とも連携してすすめてほしい。

(事務局)： 運動習慣がない、喫煙率が高い、肥満が県下で2番目に高い等、集落に出向くときに伝えていく。

(委員)： 結果はフィードバックしていくことである。

(事務局)： 全ての住民さんに現状を返して、自分達で何ができるか。生活習慣を改めたり、ひとりで出来なければ、みんなと一緒に歩いたり、健康づくり運動が町に定着していくと、全体的に健康につながる。

(委員)： 肥満についても具体的に指導した方がいいのではないか。

(事務局)： 小さいときからきちんとした食生活をつけてあげることである。大人になってからはなかなか変わらないので、町をあげて健康づくりをしていかなければならない。

(委 員)： 学校等にも説明しているのか。」

(事務局)： 乳幼児健診と時から、食生活や生活リズムについて指導している。
また、幼稚園、小学校、中学校、学校医さんと連携している。みなさんのお力を借りて、一緒に地域で何かしていくことが、町をあげての健康づくりにつながる。

(閉会)